

安住寺だより



禅の心

第149号

発行 安住寺(年4回発行)
臨濟宗南禅寺派
大分県杵築市大字南杵築379
〒873-0002 TEL0978-62-2680
URL http://www/anjyuuji.net/
編集 矢野明玄 2・3頁
矢野玄德 1・4頁

謹賀新年

檀信徒の皆様には、無事に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。倍旧のご法愛をお願い申し上げます。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

平成二十七年歳旦



- 代表責任 矢野明玄
役員住職 矢野明玄
責任役員 矢野玄德
責任役員 川上浩
総代 平野芳彦
総代 植木文一郎
総代 清末静男
総代 川野省三
総代 中村文三
総代 西正文
総代 松本文次
合掌会長 是久妙

大般若・初観音講

一月十七(土) 十時より

お弁当の用意がありますので、お参りの方はお知らせ下さい。お弁当代五百円です。沢山のご参詣をお待ちしています。古いお札をお持ち下さい。

檀信徒の皆様には、恙なく新年をお迎えのことと存じます。喪中のお宅や災いのあつた家は今年こそ良い年でありますようにお祈り申し上げます。

それにつけても昨年は、色々な天災、人災が途切れることなく発生しました。集中豪雨が各地で起き、沢山の犠牲者が出ました。御嶽山が突然噴火をし、火山災害では最多の犠牲者が出ました。十一月には、長野県で地震が起き、大勢の住民が避難先で新年を迎えることになりました。天災は、誰を恨むことも出来ず、自ら怒りを鎮めるしかありません。

今年こそ災害が起きませぬように

御嶽山の噴火で犠牲になつた人の奥様が「あんなに自然を愛し、自然保護のボランティアをしていた人が、自然に殺されるなんて…」と取材に答えていました。何ともいたたまれない出来事でした。それでも救われる道が有ることを知りました。同じ仲間の存在です。遺された写真に、楽しそうに山登りをしている姿が写

つていたのです。遠くの山の景色や色々な草花が写されていました。「同じ思いで山に登り、楽しい時間を過ごすことが出来て本望でしょう」と思い、遺された同じ境遇の人達と手を取り合つて生きて行く道を見つけたのでした。

また、東日本大震災で親を亡くした人の話です。一年以上も経つて母親の遺骨がDNA鑑定で手元に戻つて来たと言う娘さんの話です。多くの犠牲者がそうであつたように、お母さんの遺体は、遠く千葉県で茶毘に付されたそうです。肉親も居ない遠くの地で、名も分からず戒名も無く番号だけで火葬されたと思つていたそうです。ところが、お寺さんに頼んでお経を唱え、市の職員や地域の人たちが焼香し、懇ろに火葬されたことを知り、どんなにか救われたと話して

した。亡くなり方にもよりますが、矢張り最後は多くの方々に見送られて旅立つことの方が安堵し、救われるのではないのでしょうか。ここ三十年以内に大きな地震が起きる確率は七十%位だと言われています。「災害は、忘れた頃にやってくる」と地球物理学者の寺田寅彦氏が言われました。最近では忘れるどころか、復旧が出来ぬ内に次々と起こっています。今年こそ災害が起きないように…。合掌

# 新年を迎えて

あけましておめでとうございます。

安住寺檀信徒の皆様におかれましては、平成二十七乙未の新年をつつがなく迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

平素は、安住寺護持に総代様地区世話人様をはじめとし、ご協力いただきありがとうございます。より感謝御礼申し上げます。

億万長者を夢見て年末ジャンボ宝くじを買われた方も多いでしょう。結果は如何だったでしょうか？

昨年末のアベノミクス解散後、宝くじ当選金の百倍もの公費をかけて総選挙が行われました。

私は投票の締め切り一時間前に、嫁に言われるまでうっかり忘れていた始末です。

投票率は52%台と戦後最低となった今回の総選挙。国民の関心が薄く、なぜ解散？と投票されなかった方もあったことでしょう。

とはいえ、消費税増税、原発再稼働、集団的自衛権など重要な争点になるべき問題もありました。

七百億もの公費がもったいない使い道だったとならないよう、また未来の大人たちのためにうっかりしないで、国の行く末を注視していきたい。

さて、今年の干支色紙には「佛心新たなり」と書きました。臨済宗は佛心宗とも云われます。仏の心を師資相伝を以て伝えていきます。



宗祖臨済禅師の語録には「赤肉団上に一無位の真人あり。常に汝等諸人の面門より出入す。未だ証拠せざる物は、看よ看よ」と生身の私たちに備わる、「尊い真人」を自覚せよと教えており

ます。

佛心とは「一無位の真人」のこと。年齢・性別・地位など世間の価値基準から一切離れた尊い私。

この佛心・尊い私を新たに平成二十七年を迎えて頂きたいとの思いを込めました。

また、今年は無年です。中国、春秋時代の歴史書『春秋』の「繁露」編の中で、羊はこう説明されています。

「羊は角がありながら用いないのは、仁を好む者のようだ。これを執しても鳴かず、殺しても泣かないのは、義に死する者の類である。子羊が乳を吸うとき必ず母の前にひざまずくのは、礼を知る者の類である。だからこそ羊は、祥のごとしと言うのである」

仁を好み、義に死し、礼を知る。羊は大いに君子の風格があると言われる。

私も羊の徳を頂き、檀信徒の皆様と共に幸多き一年になるよう願っております。

本年もご法愛を賜りますようお願い申し上げます。住職合掌

# 日々是好日

●中学校の武道必修化にともない、昨年十月と十一月にのべ十日間、山香中学校に外部武道指導者として伺いました。学生と楽しい時間を過ごしました。●

十一月二十八日、第五回杵築市仏教会交流グラウンドゴルフ大会が開催され、私も張り切って初参加。意外に難しく足を引っ張ってしまふ結果となりました。

参加頂いた皆様ありがとうございました。●十一月二十日南禅寺派管長、中村文峰老師を囲む会に、弟子の一人として参加しました。罌鑠（かくしゃく）たるお姿を拝見し、喜びと共に力を頂きました。●本年も一月三日に年始会を予定しております。

総代様、地区世話人様、年頭お忙し中、お繰り合わせ出席頂きますようお願いいたします。●一月十七日の大般若祈祷会法要には、部内（県内の南禅寺派の寺院）の和尚様、長男・玄悠もお参りいたします。一年の平安を皆さんで祈願いたしましょう。

# 「かさじぞう」の教え

ある雪深い山奥に、貧しい老夫婦が住んでいた。明日は年の瀬というのに、新年を迎えるための餅すら買うことのできない状況だった。

そこでおじいさんは、妻の作った髪飾りの「かさ玉」を売りに町へ出かけるが、大晦日にかさ玉を買う人はおらず売れません。

同じように笠を売っていたが、ぜんぜん売れないおじいさんと出会って、かさ玉と笠を交換することにした。

帰り道吹雪の中、雪に埋もれたお地藏様を六体見つけ、持っていた笠をかぶせてあげました。しかし笠は五つ、そこでおじいさんは自分のかぶっていた手拭いを最後のお地藏様へかぶせ何も持たずに帰りました。

ことの次第を聞いたおばあさんは「それはよい」とを言い、二人は清々しい気持ちで休んだ。その夜夫婦が寝ていると、六体のお地藏さんが、笠の御礼にと米俵や餅、野菜や魚など沢山の贈り

物を家の前に届けてくれた。おじいさんとおばあさんは大変喜び、感謝しながら新年を迎えることができたという。



こんな切手がありました。

お釈迦様の誕生以前に、六人の過去仏がこの世界に出現していたと言われる。そのお釈迦様を含む七人の仏に共通した教えが「七仏通戒偈」の教えがある。諸悪莫作 しょあくまくさ

諸々の悪はこれをなさず 衆悪奉行 しゅぜんぶぎょう

衆の善を奉行実践し 自浄其意 じじょうごい

自らそのこころを淨くす 是諸仏教 ぜしよぶつきょう 是れぞ諸仏の教えなり

中国の詩人・白樂天は若いとき道を求め、杭州の道林和尚を訪ね「仏教の根本の教えとは何か」と質問した。道林和尚は即座に「諸悪莫作、衆善奉行」即ち悪いことをするな、善きことをせよと答えた。

あまりにも平凡な答えに、白樂天はあきれて「そんなことは三歳の童子でも知っていることではありませんか」と反論したところ、「三歳の童子でも知っているても、八十の老人でさえ行うことは難し」と答えたという。

「悪いことをせずに よい行いをしなさい」これがお釈迦様を含む過去七仏からの教えです。本當の善行をお地藏様も見ていらっしやるでしょう。

檀家の方で毎年境内の六地藏に、前掛けを新調し掛けてくださる方がおります。亡き息子のために困っている方のためにと、六地藏を造立された方もいらっしやいます。

「地藏菩薩本願經」地神護法品によると、地藏菩薩の像を作り信心供養すれば、次の十の御利

益があるという。

- \* 土地が豊作になる
- \* 家が永く安穩である
- \* 先祖が天に生まれ変わる
- \* 生きている人が長生きする
- \* 願いが叶う
- \* 水難や火災がなくなる
- \* 健康に恵まれ、年をとっても元気に暮らせる
- \* 悪い夢をみることはない
- \* 常に守護神の加護を受ける
- \* 仏道修行する上でよい因縁に恵まれる



ろうばいの花

お地藏様は「縁なき衆生は度し難し」と教えます。お正月には子供さん、お孫さんと過ごす時間があることでしょう。

ご馳走や、お年玉も大切ですが、「善をなす心」過去七仏から続く、大切な教えと縁を結んでみて下さい。



色紙プレゼント

廣石碩田先生より頂戴しました。ご希望の方はお申込み下さい。

業者に頼むと十数万円掛かるので、これから墓を建てる家に相談し、リースで墓を使って貰うことにした。家名を彫り込

### 墓じまい

数年前、墓を片付ける例があった。

テレビで「墓じまい」について放送していた。何でもその人には、墓を継承するべき後継者が居ないと言う。そこで、自分の判断で処分が出来る今の内に墓を片付けることにしたと言う内容だった。

安住寺の境内墓地にも無縁墓か、無縁になりそうな墓が何基かある。それも年々増えていきそうな状況にあります。

む穂石と家紋を入れる石を取り替えることで費用も安く済んだ。撤去する家も負担が少なく済んだ。家によって状況が違うので同じにはならないが、無縁墓になりそうな境内墓地をご利用の家は、ご相談下さい。管理費を一括で納めて頂き、将来は寺が責任を持って合祀する方法もあります。無縁墓になる前に、墓じまいを相談下さい。

早朝坐禅会は、第二・第四土曜日の午前六時半からです。どなたでも参加できます。また、都合により日程が変更することもあります。初めての方は、お問い合わせ下さい。

## 平成二十七年 年回忌表

年回忌仏事は、故人を偲び、敬い、つなぐ「いのち」を再確認する意義深い行事です。兄弟や親戚との絆を深める場面に致しましょう。

### 年回忌

一周忌	平成二十六年
三回忌	平成二十五年
七回忌	平成二十一年
十三回忌	平成十五年
十七回忌	平成十一年
二十五回忌	平成三年
三十三回忌	昭和五十八年
五十回忌	昭和四十一年

## 合掌会行事

昨年のバス旅行は、鳥栖市

### バス旅行・奉仕作業

近郊の寺院や施設を見学する一日の旅でした。昭和時代に創立された高野寺、吉野ヶ里遺跡で見学と食事、最後はキューピーマヨネーズ鳥栖工場を見学しました。一分間に六百個の卵を割り、黄身だけをより分ける機械に、みな驚いていました。今回は男性も加わり四十名の参加でした。

## 奉仕作業

11月28日に実施しました



お手伝い下さった皆様です。ご苦勞様でした。

## 行事予定

- 一月三日 役員年始会
- 一月七日 御詠歌稽古始
- 一月十二日 早朝坐禅会
- 一月十七日 大般若祈禱・観音講
- 一月二十二日 写経・写仏の会
- 二月六日 独秀流御詠歌
- 二月十日 早朝坐禅会
- 二月十七日 御詠歌・観音講
- 二月二十四日 早朝坐禅会
- 二月二十四日 写経・写仏の会
- 三月六日 独秀流御詠歌
- 三月十七日 御詠歌・観音講
- 三月二十日 写経・写仏の会